

2011
12月

警察庁がWEB上での財物提供を禁止(5日)

遊技機メーカー団体宛の通知「ぱちんこ営業者による賞品の提供以外に遊技に伴ってサービスを受けることができる遊技機について」で、特定のWEBサイトにアクセスさせてWEB上でサービスが受けられる遊技機について、「著しく射幸心をそそるおそれのある方法での営業等に該当するおそれがある」と指摘した。

2012
1月

業界14団体が賀詞交歓会(27日)

パチンコ・パチスロ産業21世紀会を構成する14団体が、東京・新橋の第一ホテル東京で5回目の賀詞交歓会を開いた。

「パチスロ回帰」の傾向

「2011年ファンアンケート調査(来店客調査)」結果公表(15日)

若者中心にパチスロ回帰の傾向がうかがえた。低価格台が一定の評価を得ていた。東日本大震災での節電や社会貢献活動が大多数のファンから理解された。

新保安課長に古谷洋一氏(23日)

警察庁は宮崎県警本部長に転出した加藤達也保安課長の後任に、古谷洋一愛知県警警務部長を発令した。

東日本大震災被災地へボランティア派遣再開(26～28日)

東京都・関東支部8人が、宮城県気仙沼市で水揚げワカメの加工作業を行った。

「再プレー」などで通知

ボランティア派遣(11～13日)

東京都・関東支部7人が、宮城県気仙沼市と南三陸町でワカメの加工作業を行った。

警察庁が「貯玉再プレー」「ポイント制」で通知(13日)

通知「貯玉再プレーシステムの利用に伴う手数料の取扱いについて」では、同システムで手数料等と称して一定数の遊技球等を徴収することは、遊技球等を金銭として扱い、実質的に換金行為と見なされると指摘した。

日遊協と産業界 ことしの重大ニュース

「広告・宣伝等」で再度通知が出る 依存問題で新たな取り組み

5月

通知「ぱちんこ営業において客に付与されるポイントの扱いについて」では、来店ポイントについて一定の範囲で認めたが、遊技ポイントについては著しく射幸心をそそるおそれがあると指摘した。

警察庁が2011年風営白書を公表

店舗数は16年連続の減少。パチスロ設置店は5年ぶりに増加した。

4委員会・4PTに

エッセー・絵手紙コンクール入賞者決定(9日)

「第2回パチンコ・パチスロ エッセー・絵手紙コンクール」最終審査委員会で、エッセー部門は神戸市の岡本佳苗さん(41)、絵手紙部門は京都府亀岡市の市岡哲夫さん(60)が最優秀賞に決まった。

ボランティア派遣(9~11日)

東京都・関東支部8人が、宮城県南三陸町で農地、側道の草取り作業等を行った。

専門委員会制度を刷新(17日)

第1回定例理事会で、常設の4専門委員会(広報調査、人材育成、社会貢献・環境対策、遊技機)と、必要に応じて設置されるプロジェクトチーム(PT)の体制が承認された。

日工組が「ECO遊技機」構想発表(11日)

ECO遊技機は機械単体内で一定数の玉を循環させ、遊技者は直接玉に触れない。日工組では不正・ECO・不法投棄などの対策、低価格などに対応できるとしている。

各団体総会で指導者が交代

PCSA代表理事に佐藤公平氏、自工会理事長に古宮茂雄氏が就任。

新理事5人が就任

「環境フォーラム+パチンコ&パチスロフェスタ2012」(1、2日)

パチンコ機55台(うち試作機12台)、パチスロ機69台(同31台)が展示された。1日目は業界関係者2143人、2日目は一般ファン2483人で賑わった。「遊技機アワード2012」表彰式が行われた。

「2012フェスタ」でも
上昇気流に乗るパチスロのコーナーはにぎわった



東京都・関東支部はことし8隊も南三陸町にボランティア派遣。
写真はガレキの細かい分別に汗を流す第6陣

第23回日遊協通常総会開く(7日)

深谷友尋会長の続投と新理事5氏が承認された。臨時理事会で8副会長のうち4氏が新任された。

東京・関東、九州が派遣

ボランティア派遣(13~15日)

東京都・関東支部7人が、宮城県南三陸町で樹木の伐採・運搬作業等にあたった。

ボランティア派遣(26~30日)

九州支部30人と九遊商14人の合同活動。宮城県気仙沼市でワカメ加工を手伝い、南三陸町で草取りや炊き出しを行った。

全日遊連の新理事長に青松英和氏(29日)

第21回通常総会で。副理事長も5氏全員が新任された。

警察庁が「広告、宣伝等」で再度の通知(20日)

昨年6月の通知後、是正が見られないため、警察庁は通知「ばちんこ営業における広告、宣伝等の適正化の徹底について」で改めて「直ちに適正化の徹底」を要請した。

車内放置でまた犠牲

「8・4はパチスロの日」「パチスロ元氣祭り」(4日)

日電協、回胴遊商主催で秋葉原で開かれ、一般ファン約2200人が参加。

ダイナムが香港上場(6日)

(株)ダイナムジャパンホールディングスが香港証券取引所メインボードに上場された。ホール経営企業の上場は世界初。

三重・桑名市のホール駐車場で車内放置の乳児が死亡(16日)

同種の事故は5年連続の発生。全日遊連、日遊協、PCSAは会員・組合員に向けて、再発防止の徹底を緊急要請した。さらにホール関係5団体が9月14日、合同記者会見を開いて再発防止の声明を発表した。

ボランティア派遣(29~31日)

東京都・関東支部7人が、宮城県南三陸町でワカメ養殖の仕掛け作りと漁を手伝った。

第23回総会懇親会で談笑する(左から)玉川課長補佐、深谷友尋会長、都遊協理事長に新任予定の阿部恭久副会長、退任を控えた原田實全日遊連理事長



**警察庁「広告、宣伝等」で再度通知
直ちに適正化の徹底を 営業者によるこれ
脱法的対応を厳し**

警察庁は、昨年6月の通知後、是正が見られないため、改めて「直ちに適正化の徹底」を要請した。通知は、営業者による脱法的対応を厳しく求め、直ちに適正化の徹底を要請した。

警察庁は、昨年6月の通知後、是正が見られないため、改めて「直ちに適正化の徹底」を要請した。通知は、営業者による脱法的対応を厳しく求め、直ちに適正化の徹底を要請した。



警察庁の「広告・宣伝等」での再度の通知は、業界に大きな衝撃と影響を与えた

9月

ボランティア派遣(5〜7日)

東京都・関東支部7人が、宮城県南三陸町でがれきの撤去作業を行った。
皇居勤労奉仕団(24〜27日)

44人が皇居及び赤坂御用地で奉仕活動を行った。今年が3年目。

第6回遊技産業界マネジメント・カレッジ(27、28日)

「業界の未来を創造(想像)する」をメインテーマに、各業種の中堅管理職60人が参加した。特別講演は元伏見工業高校ラグビー部監督、山口良治氏。

依存予防へ「ステッカー」

「総付景品等の提供に関するガイドライン」を改正、施行(1日)

ホール関係5団体は来店ポイントの運用を条文に加えた。

ラスベガス・シアトル研修2012(1〜9日)

70人の大視察団が本場のエンタテインメントを学んだ。

「依存予防ステッカー」を配付(1日)

過度な遊技にならないよう、ファンへの注意喚起のため、日遊協会員全ホールを対象に、1ホール12枚のステッカーが配付された。

ボランティア派遣(17〜19日)

東京都・関東支部7人が、宮城県南三陸町でがれきの撤去作業を行った。

共生の森で「子ども自然塾」(27日)

会員親子79人が森の自然を満喫した。

日本生産性本部の「レジャー白書2012」発表(29日)

パチンコ市場規模が18兆円台に。パチンコ離れが進む。

遊技機の検定申請を簡素化(1日)

警察庁は、メーカーが遊技機の検定申請時に添付する役員全員の住民票についてコピーを導入するなど簡素化し、申請者側の負担軽減を図った。

推進機構検査に初の立入拒否(7日)

秋田県の業者が拒否。健全化推進機構はホームページのリストから当該業者の名前を6か月間削除し、社員団体専用ページに拒否事実の情報を掲載。

ボランティア派遣(20〜22日)

東京都・関東支部8人が、宮城県南三陸町でがれきの撤去作業を行った。



共生の森「子ども自然塾」で、これから植樹する木をもってごきげんの子供たち

なごやかな中にも討議に集中したマネジメント・カレッジ

